

令和5年第9回教育委員会会議

令和5年7月12日

午後 1時30分 開会

1 開会宣言

○廣瀬教育長 ただいまから、令和5年第9回教育委員会会議を開会いたします。

会期は本日限りといたします。

本日の会議の欠席者を教育総務課長から報告願います。

○森教育総務課長 本日、欠席の委員はおられません。

○廣瀬教育長 傍聴者はお見えですか。

○伊藤教育総務課主幹 本日、傍聴者はありません。

2 会議録署名者の決定

○廣瀬教育長 それでは、会議録署名者の決定に移ります。

お諮りいたします。

本委員会の会議録署名者として、数馬委員と伊藤委員とでお願いしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○廣瀬教育長 御異議がないようですから、提案どおり決定いたします。

3 議事

○廣瀬教育長 これより議事に入ります。

本日の議事は、報告事項1件、協議事項1件ですが、協議事項、令和4年度の教育委員会における点検及び評価については、今後、市議会等で審議、検討される事項であるため、非公開で審議する必要があると考えます。委員の皆さん、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○廣瀬教育長 御異議がないようですから、後ほど、非公開にて審議をいたします。

(1) 報告

1 令和5年6月定例会議の報告について

○廣瀬教育長 それでは、報告事項、令和5年6月定例会議の報告についての説明をお願いします。

副教育長、お願いします。

○磯村副教育長 それでは、資料の42分の4ページを御覧ください。

私から、6月定例会議について報告をさせていただきます。

42分の4ページから42分の8ページまでが一般質問での答弁内容でございます。今

回は、通学路の安全について2件、給食に関するものが2件、そのほか、奨学金に関するものが1件ございました。

まず、42分の4ページを御覧ください。

道路の危険箇所についての質問でございました。本来、道路の安全確保につきましては、道路管理者が対応すべき問題ですので、都市整備部での答弁はしていましたが、通学路として子どもたちが通るという点で、学校や教育委員会としての関わりを問われました。

これに対しましては、地域や保護者との協働や四日市市通学路交通安全プログラムでの関係機関との連携した対応について答弁をいたしました。

次に、42分の5ページ、6ページを御覧ください。

こちらは、中学校給食でのアレルギー対応について質問がございました。学校給食でのアレルギー対応につきましては、以前から何度も一般質問で取り上げられてきている話題ですが、中学校給食が始まったということで、どのような対応をしているのか、小学校と比べてどうなのかといったことを問われました。

これに対しては、中学校給食でのアレルギー対応を詳しく説明し、発達段階に応じた食育が必要と考えていることを答弁いたしました。

次に、42分の7ページを御覧ください。

こちらは、給食費の無償化についての質問です。給食費の無償化につきましては、2月定例月議会でも複数の議員に答弁をいたしましたので、基本的には同様の答弁とさせていただき、令和5年度については、物価高騰分のみ公費で負担すること及び無償化については、継続して多額の費用が必要なことから、慎重な判断が必要であることを答弁させていただきました。

次に、42分の8ページを御覧ください。

表の上段は奨学金についての質問です。令和4年度より実施している新しい奨学金の現状について説明をいたしました。奨学金を活用した人材育成の1つとして、教員不足解消に向けて返還支援制度を設けてはとの質問がありましたが、教員の人事は三重県教育委員会の所管であることから、市が実施する支援制度にはなじまないとの答弁をいたしました。

表の下段は、再び通学路に関する質問です。1番目の質問とは場所は違いますが、やはり道路の安全確保や対応については都市整備部が答弁をいたしまして、通学路という観点から教育長が答弁をいたしました。

一般質問については以上です。

次に、42分の9ページを御覧ください。

議案についてですが、今回、本議会の議案は、博物館の受変電及び発電機設備更新工事の契約案件のみとなっております。ここに記載しましたような内容で質疑応答を経まして、最終、可決をしていただきました。

議会の報告については以上でございます。

○廣瀬教育長 たゞいまの報告につきまして、何か御確認とか御質問はありませんでしょ

うか。

○伊藤委員 幾つか、教えていただきたいところがありまして、まず、通学路の件で、四日市市通学路交通安全プログラム、これはビジョンにも掲載されていて、今はこれを基に進められているということは認識していますけれども、以前からも警察をはじめ様々な機関が連携して、安全確保についてのメニューを実施されていたと思うんですけど、安全プログラムというものは、以前のものと比べてどのように違ってきているのか、内容的に自分もよく分かっていないところがありまして、このプログラムについて少し教えていただけたらというのが1点目です。

それから、2点目ですけど、給食で代替食のことについて、ここでの答弁はそれに対応するという事は非常に難しい状況があるが、今後これについては注視して実施していきたいとのことでした。一方、議員が全国的には代替食をやっているところがあるではないかというようなことも言われていましたけれども、実際、市の状況や見通しとしてはこのとおりで思っていますが、代替食についての方向性みたいなものを、全国的に見ればどうなのかというのはキャッチされている部分があったら教えていただきたいなと思います。

それから、最後にもう一つは、奨学金について、結果的に昨年度は100名を超える応募があつて、実際、それを進めているところで、今年度ももう少し余裕があるようですけども、その後の追加募集の状況が今どうなのかということが分かれば教えていただきたいと思えます。

以上です。

○廣瀬教育長 では、まず、通学路安全プログラムについて指導課からお願いします。

○草川指導課長 今、プログラムの資料を持ち合わせていませんが、まずは、以前は、教育施設課を通してというルートでした。ソフト面で表示などの軽微な対応は学校から施設課に行つて、施設課では、プログラム全体で協議をするという、そういうルートになっていまして、施設課ではなく、指導課を窓口にして、ほかの道路整備課とか道路管理課と協議をするというふうなルートがまず変わったということです。

あとは、いろんな要望が出てきますけれども、通学路交通安全プログラムに基づき、通学路交通安全推進会議にて関係者で協議をし、合同点検に持っていくという、そういう道筋ははっきりさせたというところです。

実際、プログラムについては、分かっているようで分かっていない方が、学校もそうですし、地域もそうですし、地域の土木要望と混同される自治会もいらっしゃいます。ちょうど今、館長会議がこの時間にありまして、そこに通学路交通安全プログラムがどんなものかということを説明に行っているようなところで、各自治会にももう少し周知しているところなんです。

○伊藤委員 ということは、前にもらった白書の中に整備状況と書いてあつて、項目がずっと書いてある。こういうふうな内容で、こういう手順でやっていくというのが、一体として示されているのを本プログラムと考えるということなんですね。

○草川指導課長 道筋が示されています。

それをはっきり分かりやすくしたということです。

○伊藤委員 今までの取組と内容についてはどうですか。

○草川指導課長 変わらないです。

○伊藤委員 分かりました。

○廣瀬教育長 予算ですけど、通学路交通安全施設整備事業というのは、教育施設課が予算を持っていましたけど、道路整備施設の一部を教育施設課がするのも変ですよというので、全部都市整備部に返しました。道路が一元化して整備をしていくということになったので、整備自体は都市整備部にお任せする。その事務局を教育委員会が担って、学校の要望を合同点検まで整理して、警察と道路管理者と教育委員会で点検するという形の中で実施箇所を決めていくという流れを整理して進めているという状況です。

○伊藤委員 分かりました。

○廣瀬教育長 続いて、他市の代替食の状況等が分かれば。

○稲垣学校教育課長 他市において代替食が実施されているところも実際にはありました。代替食は食べられないものだけを除く除去食と異なり、全てのアレルゲンに対応したものが提供されます。利用する子どもにとっては、今日のメニューなら食べられるものもあるのにといいながら食べるということにもなります。加えて四日市の中学校給食の規模である約8,000食に対応することにおいては、特定原材料7品目を除去した除去食の提供が適切と考えています。安全・安心の確保を最優先に、また、食材の安定的供給を担保しようとすると、除去食の提供という形でスタートを切りましたし、今後もそのつもりで、やっています。

○廣瀬教育長 追加募集の状況について、教育総務課よりお願いします。はい、内田リーダー、お願いします。

○内田教育総務課総務グループリーダー 奨学金追加募集についてですけれども、6月1日から23日の間で追加募集をさせていただきました。その結果、高校等が11名、大学等も11名、合計22名の方に応募をいただいたということでございます。当初分と合わせますと、ちょうど100名というような状況になりました。今年度につきましては、大学等を合わせると54名ということで、当初の50名を超えてきたわけですが、追加募集につきましては7月からの採用ということでございますので、予算内に収まったということで、全員を採用するような方向で進められています。

以上でございます。

○廣瀬教育長 ほか、よろしいですか。

それでは、ないようですので、これより先はお諮りいたしました非公開の案件に入ります。